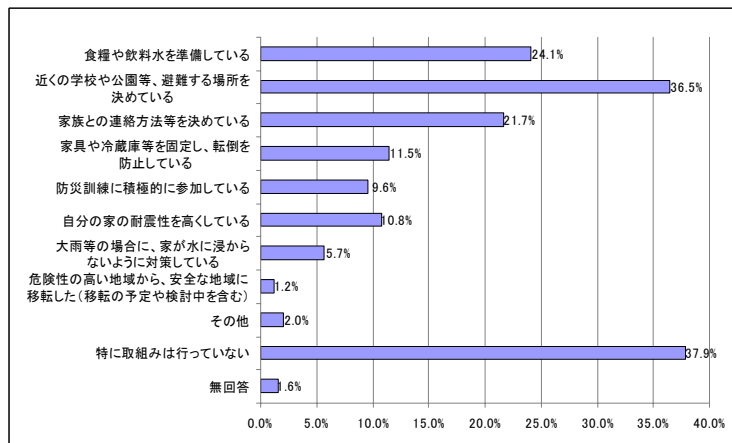


問 9. 【災害時に自分を守るための取組み】 災害時に自分や家族の命を自ら守るために、現在、どのような取組みを行っていますか？（あてはまるものを全て選択）

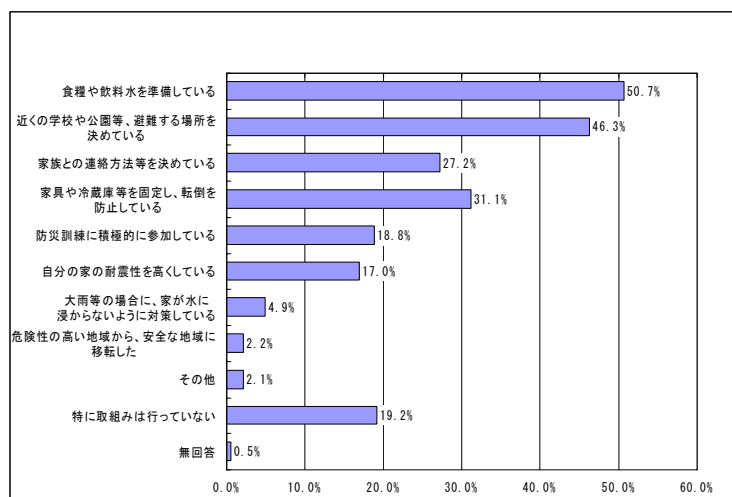
- ・「特に取組みは行っていない」とする回答が最も多い（37.9%）。
- ・取組みとしては、「近くの学校や公園等、避難する場所を決定している」が最も多く（36.5%）、次いで「食料や飲料水を準備している」となっている（24.1%）。

【新潟市】



- ・「食料や飲料水を準備している」とする回答が最も多く、過半数を占めている（50.7%）。
- ・「特に取組みは行っていない」とする回答は新潟市に比較して低い（19.2%）。

【3市合計】



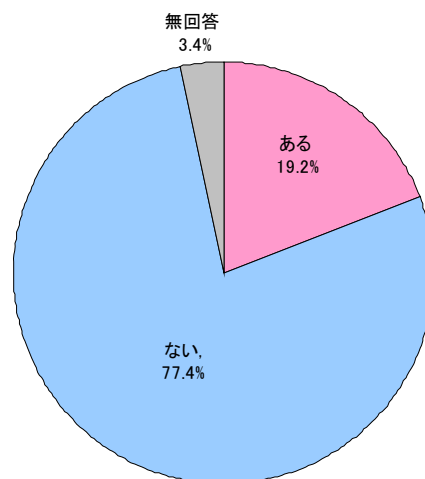
<アンケート結果に対する考察>

- ・新潟市は、3市に比較して、「特に取組みを行っていない」とする回答が多く、今後の市民意識の啓発や、防災に対する具体的な取組みの推進などの対応が急務と考えられる。

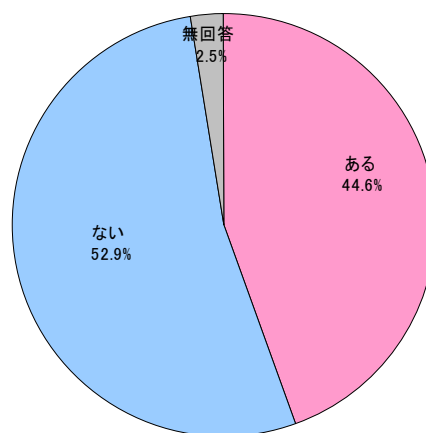
問 10. 【イベントへの参加】あなたは、今までに町内会、自治会等で行われた安全安心なまちづくりに関するイベント（防災訓練等）に参加したことはありますか？

(ひとつだけ選択)

- 【新潟市】**
- ・参加したことがあるとする回答は 19.2%である。
 - ・参加したことがないとする回答は 77.4%である。



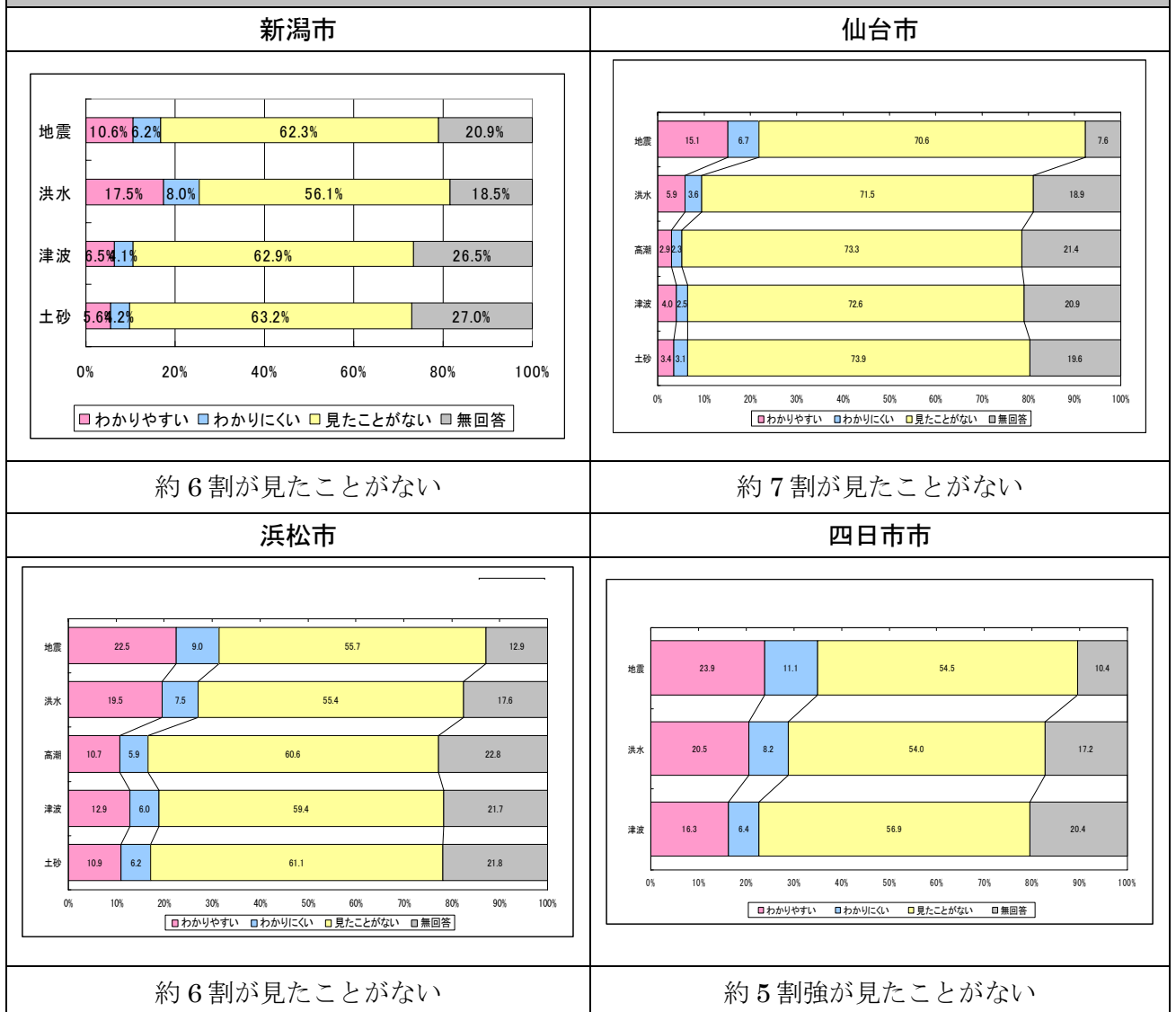
- 【3市合計】**
- ・参加したことがあるとする回答は 44.6%である。
 - ・参加したことがないとする回答は 52.9%である。



<アンケート結果に対する考察>

- ・新潟市民は、町内会・自治会等で行う防災訓練等の地域イベントに参加したことがないとする回答が多い。非常時に向けた平常時の備えが重要であることから、今後、より参加しやすくなるような環境整備や工夫等が重要となる。

問 11. 【マップのわかりやすさ】以下の災害のハザードマップを見て、自分の地域が危険かどうかわかりやすいと思いますか？あてはまる箇所に○をつけてください。



※ハザードマップの作成状況が3市で異なることから、3市の合計ではなく、別々に整理した

<アンケート結果に対する考察>

- ・ 4市とも、「見たことがない」とする回答が最も多く、6割前後を占めている。
- ・ 「見たことがある」と回答した市民のうち、「わかりにくい」とする回答が30%~50%程度あり、今後は、認知度を向上するとともによりわかりやすい情報として提供する工夫が課題である。
- ・ 新潟市では、洪水のハザードマップの認知率が、他の種別に比較して高い結果となっている。これは、公表方法が、紙媒体を全戸配布していることが要因となっていると考えられる（その他はインターネット上で公表している）。